

Schroders

サステナビリティ アニュアルレポート 2022

MARKETING MATERIAL. ENVIRONMENTAL, SOCIAL AND GOVERNANCE IS REFERRED TO AS ESG THROUGHOUT.



グループCEOのメッセージ

ピーター・ハリソン グループCEO

2022年に、6つのテーマ領域における私たちの優先事項と企業への期待を示した最初の「エンゲージメント・ブループリント」を発表して以来、私たちは多くの面で前進を続けています。

気候危機は、投資家の質問が非常に重要であり、答えを見つけることが容易でない理由を象徴しています。

世界のエネルギー供給を混乱させたロシアのウクライナへの侵攻から1年、ヨーロッパでは今のところ停電は避けられています。

しかし、エネルギー危機は終わっていません。国際エネルギー機関の石炭市場報告書によると、インドやインドネシア等の一部の国では、石炭の燃焼が増加しました。

バングラデシュ、パキスタン、スリランカは、過去12ヶ月間、燃料不足による停電に見舞われています。

英国では、寒波の中、古い石炭火力発電所が再び発電を開始したことが報告されています。

新しいインサイト、影響力、イノベーション等、このような困難な背景から、気候変動という複雑な問題に対する答えを見つけるために投資することは、これまで以上に重要です。

そして、それは単にネットゼロへの移行や増大する脅威に対処する方法を見つけるということだけでなく、重要なことは、投資家にとっての潜在的な利益を最大化するという問題でもあるのです。

"サステナビリティに対する考え方は様々ですが、私たちのチームは、お客様が目標を達成するために必要な難しい質問をすることを恐れません。"

物価上昇率の上昇、ロシアによるウクライナへの侵攻、一部の反ESGの動き等を受け、当社の投資スペシャリストはこの1年間、73カ国、数千の企業とともに困難なサステナビリティ問題に取り組んできました。

サステナブル投資の戦略としてのアクティブ・オーナーシップへの継続的なコミットメントがその中心にあります。私たちは、ファンドマネジャーやアナリスト等、投資先企業に最も近い立場の人々がエンゲージメントを主導することが賢明であると認識しています。2022年には、サステナビリティに焦点を当てた投資先企業とのエンゲージメントの5分の1は、運用デスク主導で行われました。これは、運用デスクが推進した全5,300件のうち1,112件で、2021年の345件から222%増加しました。

この数字は、より大きな全社的な取り組みに対するサステナブル投資チーム（約50名のESGおよびインパクトの専門家から構成）の重要性をも示しています。当チームは、運用デスクをつなぐ役割も担っています。ファンドマネジャーと密に連携し、グローバルなリスクと機会を分析し、影響力を行使して企業に変革を促し、世界中の革新的な新しいソリューションに資金を流す手助けをしています。

サイロ化されたチームではなく、常に好奇心を持ち続けるという文化が、私たちのビジネスにはあります。

サステナブル投資チーム グローバルヘッドのメッセージ



"2006年にサステナブル投資が投資業界の本格的な参加者として誕生しました。2022年は誕生から16年経ち、成熟への調整という難しい現実を突きつけられた年でした。"

アンドリュー・ハワード
サステナブル投資 グローバルヘッド

その成長の証として、2006年に発足した国連責任投資原則は、同年末までに77の署名者を獲得しました。2022年末には、署名者は5,000以上¹、管理する資産総額は120兆ドル以上に増え、世界の資産運用業界の大部分を占めるに至っています²。

この12ヶ月間、サステナブル投資はより複雑になっています。ウクライナへの侵攻は市場の変化を促し、ほとんどのESGに焦点を当てたファンドのパフォーマンスを低下させることになりました。

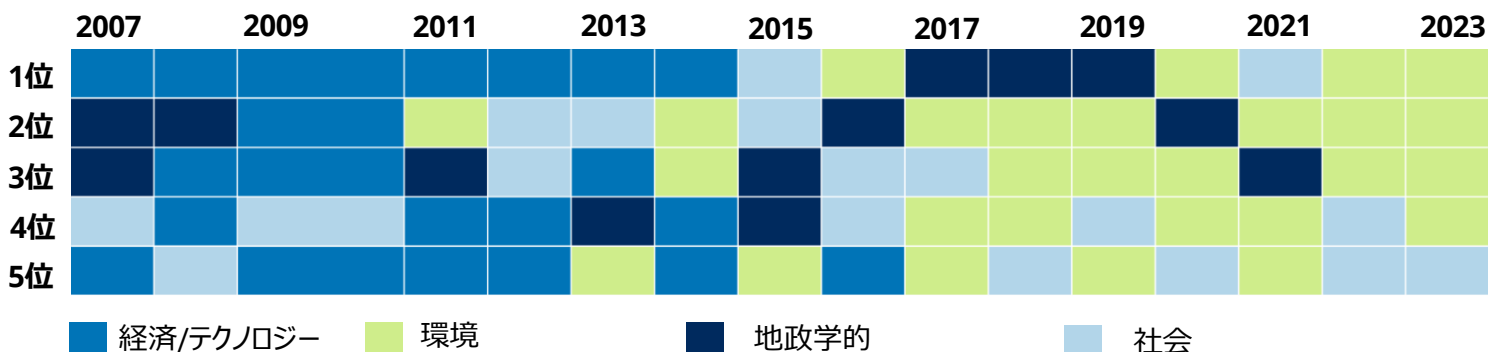
米国では政治的な対立から、金融業界がサステナビリティを重視するようになったことに対して「反ESG」の動きが起こり、その結果、社会的・政治的課題を形成している社会・環境問題から投資を切り離そうとする動きに対して反発が起きました。このような緊張関係は、急速に複雑化し、要求が厳しく、グローバル化する規制が背景にあります。

このような複雑な状況の中で、資産運用会社である我々に課された要件を満たすことだけに集中したり、シナリオを微調整したり、投資原則を曲げたりすることは簡単です。しかし、私たちはそうではありません。

サステナブル投資は、当社の戦略の根幹をなすものです。社会的、環境的なトレンドが経済、産業、金融市場を形成しています。アクティブ運用の資産運用会社として私たちが優先するのは、こうしたトレンドが生み出すリスクと機会をナビゲートし、投資リターンを形成する力と顧客のために運用する資金をつなげることです。

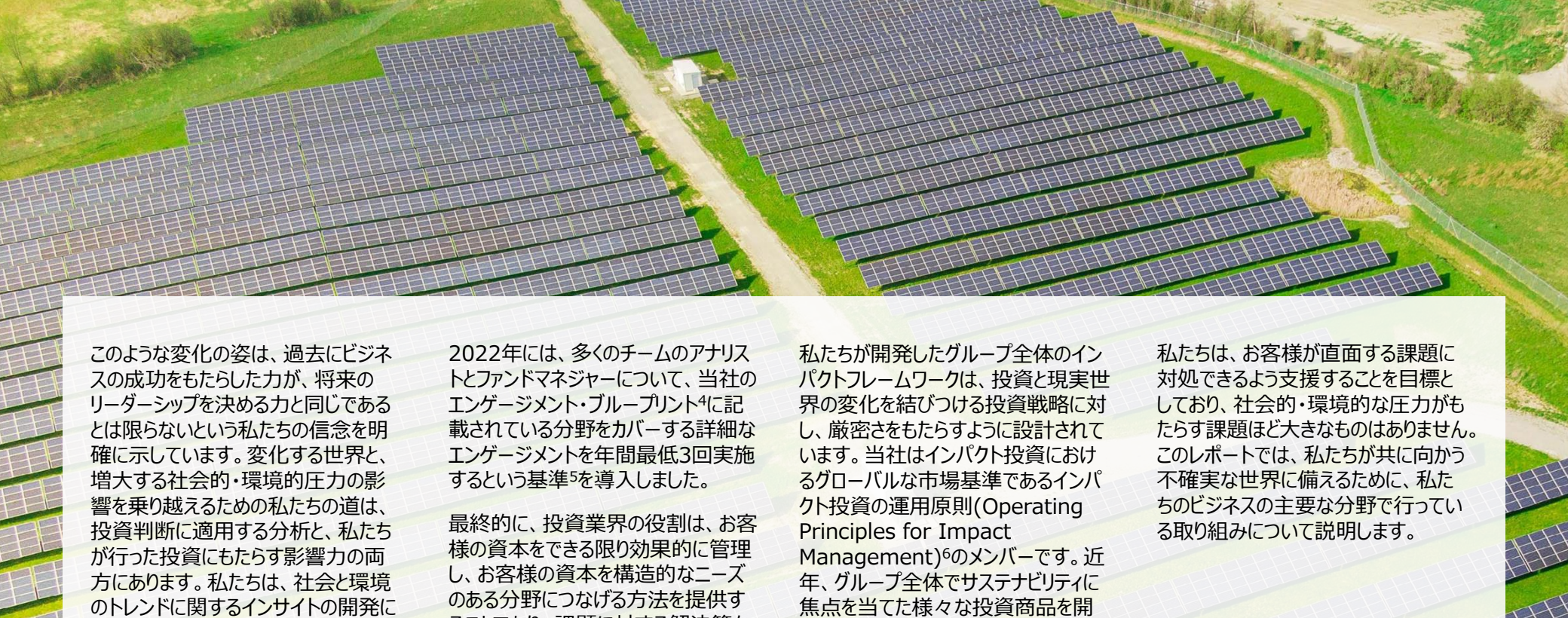
ビジネスと投資の環境が変化していると考えているのは、私たちだけではありません。この変化は、世界経済フォーラム(WEF)のグローバル・リスク・レポートで世界の経営者が認識している最も重要な脅威の形が変わってきていることから明らかです³。10年前まではほとんど取り上げられませんでした。今年、5つの長期的な懸念事項のすべてが社会的または環境的なトレンドに根ざしているものでした。

ビジネスリスクの形が変わる：環境・社会問題が企業の重要課題へ



出所: World Economic Forum annual Global Risks Reports, Schroders.

1. Based on our analysis of the PRI signatories.
2. <https://www.unpri.org/annual-report-2022>.
3. World Economic Forum.



このような変化の姿は、過去にビジネスの成功をもたらした力が、将来のリーダーシップを決める力と同じであるとは限らないという私たちの信念を明確に示しています。変化する世界と、増大する社会的・環境的圧力の影響を乗り越えるための私たちの道は、投資判断に適用する分析と、私たちが行った投資にもたらす影響力の両方にあります。私たちは、社会と環境のトレンドに関するインサイトの開発に多額の投資を行い、サステナビリティの専門能力と世界中の何百人ものアナリストやファンドマネジャーのインサイトを結集して、投資判断に役立つ独自のリサーチ、モデル、ツールを開発しました。

2022年には、多くのチームのアナリストとファンドマネジャーについて、当社のエンゲージメント・ブループリント⁴に記載されている分野をカバーする詳細なエンゲージメントを年間最低3回実施するという基準⁵を導入しました。

最終的に、投資業界の役割は、お客様の資本をできる限り効果的に管理し、お客様の資本を構造的なニーズのある分野につなげる方法を提供することであり、課題に対する解決策を提供することによって価値と成長の機会を創出することです。私たちがプライベート・アセットに重点を置くようになったのは、経済的・社会的ニーズと資本を結びつける新しい方法が将来的に価値を生み出し、私たちの顧客がそうした機会を求めると考えているためです。

私たちが開発したグループ全体のインパクトフレームワークは、投資と現実世界の変化を結びつける投資戦略に対し、厳密さをもたらすように設計されています。当社はインパクト投資におけるグローバルな市場基準であるインパクト投資の運用原則(Operating Principles for Impact Management)⁶のメンバーです。近年、グループ全体でサステナビリティに焦点を当てた様々な投資商品を開発しており、2023年以降もそれを継続する予定です。

私たちは、お客様が直面する課題に対処できるよう支援することを目標としており、社会的・環境的な圧力がもたらす課題ほど大きなものではありません。このレポートでは、私たちが共に向かう不確実な世界に備えるために、私たちのビジネスの主要な分野で行っている取り組みについて説明します。

4. 2022年に初版を発行、最新版は<https://mybrand.schroders.com/m/3222ea4ed44a1f2c/original/schroders-engagement-blueprint.pdf>.

5. <https://schroders.befirm.be/schroders-unveils-engagement-blueprint-to-highlight-global-active-ownership-priorities>

6. <https://www.impactprinciples.org/signatories-reporting>

コーポレート・サステナビリティ グローバルヘッドのメッセージ



マデリン・コブ コーポレート・サステナビリティ グローバルヘッド

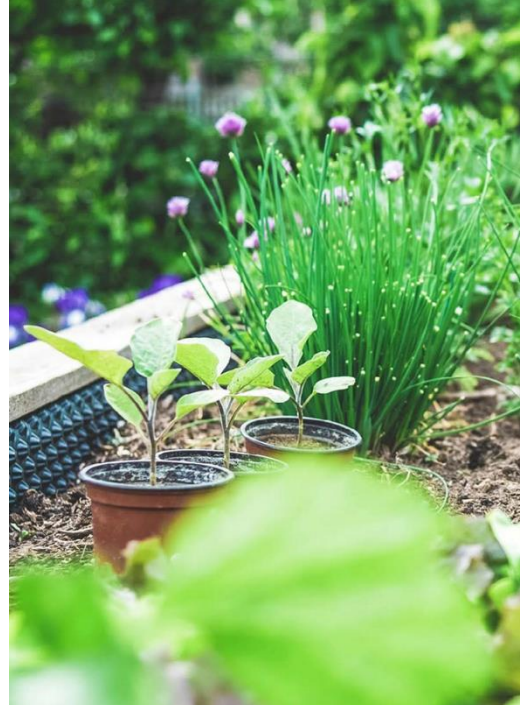
運用戦略を動かす世界に対する見通しは、私たち自身のビジネス観にもつながっています。私たちは、投資先企業に期待すると同じ基準を、自分たちにも課しています。さらに、私たちは模範を示し、自らの行動に対して説明責任を果たし、進捗状況について透明性を保ちたいと考えています。企業がサステナビリティ課題をどのように管理し、実行しているかに対する監視の目が厳しくなる中、私たちは私たちの行動の信頼性に焦点を当て続けていきます。

国連グローバル・コンパクトの署名企業として、人権、労働、環境、腐敗防止に関する10原則を支持しています。また、業界の枠を超えて、変化を促すイニシアチブにも積極的に参加しています。Net Zero Asset Managers Initiativeの創設メンバーであり、Finance for Biodiversity Pledge、Change the Race Ratio、Women in Finance Charterに署名し、その他多くの業界団体に参加しています。

2022年、当社は、Science Based Targetsイニシアチブによって目標が正式に検証された最初の20の金融機関のひとつとなり、運用資産額で最大の資産運用会社となりました。2022年版気候レポートでは、移行計画に対する進捗を報告しています。スコープ1および2の排出量は2019年と比べ34%減少し、再生可能な電力の使用率は全世界で95%に達しています。また、約15,000社のうち2%しか達成していないCDPの進捗と透明性を評価する「Aリスト」にも選ばれました。

私たちは、誰もが活躍できる文化を作りたいと考えており、98%の社員が当社で働くことを誇りに思っていることを喜ばしく思っています。当社の2022年版インクルージョン・レポート（男女の賃金格差を含む）は、当社の社員に関する豊富なデータを提供し、真のインクルージョンを実現するために当社が取っている行動を説明しています。また、変化を加速させるために当社がどのように挑戦し、他者を支援しているかについても説明しています。2023年の目標である、英国における女性上級管理職35%、少数民族代表16%という目標をすでに達成し、Social Mobility Employer Indexで雇用者として上位75社に選出され、これらは職場における社会的・経済的多様性を促進するという当社のコミットメントを反映しています。私たちは、まだまだやるべきことがあると認識しており、今年も新たな目標を設定する予定です。

私たちは、自社の従業員だけでなく、より広い社会に対して影響力を持ち、影響を与えていることを認識しています。例えば、雇用主、商品やサービスの購入者としての役割、金融サービスの提供者としての受託者責任の遂行、企業への投資家としての役割のいずれにおいても、人権を尊重し現代奴隷制度に取り組む責任があります。私たちは、従業員が生活し、働く地域社会を支援し、協力するよう推奨したいと考えています。私たちは、従業員のボランティア活動、募金、寄付を支援するプログラムを確立しており、2022年、520万ポンドを慈善事業に寄付しました。インクルージョン、障害、社会的流動性、メンタルヘルスをテーマとする慈善団体に助成金を提供しています。各パートナーシップは、社員がボランティア活動を通じてより広い地域社会と関わり、自分の知識を生かし、新しいスキルや意識を身につける機会を提供しています。また、アフガニスタンの飢饉の影響を受けた子どもたち、ウクライナの人々、パキスタンの洪水の影響を受けた人々、食糧難のために自給自足が困難な人々を支援するために、4つの緊急募金活動を実施しました。アジア、欧州、英国、米国で、従業員の募金活動に対する寄付金マッチング・スキームを提供しています。英国の従業員の22%がGive As You Earnを利用しており、Charities Aid Foundationから給与寄付に対するDiamond Quality Markを授与されました。この制度では、当社が上乗せして寄付する前に120万ポンドが世界中の1,300以上の慈善団体に寄付されました。



"私たちは、2022年のビジネスとしての自らの成果を誇りに思っていますが、満足しているわけではありません。私たち自身の行動に対する期待は高まり続けています。"

サステナビリティ・マイルストーン 2022

インサイト

>50

ESG専任スペシャリスト

27

シュローダー・キャピタルのサステナビリティ&インパクト専門家

自然のための
行動計画

11月発行

影響力

>5,300

3,400社と実施したエンゲージメント件数⁷



多くの株主総会決議について、議決権行使の意向を事前表明



エンゲージメント・ブループリントが engagement initiative of the yearを受賞

革新

13

のArticle8および9の新たな戦略が2022年にローンチ⁸



シュローダーとコンサベーション・インターナショナル、アカリア・ナチュラル・キャピタルで自然への投資を加速

総資産運用額の1/3

シュローダー・キャピタルの総資産運用額のうちサステナブル&インパクト戦略が占める割合⁹

促進

35%

上級管理職の女性比率は2021年の33%から上昇

34%

スコープ1および2の排出量は2019年と比べ減少

520万ポンド

世界各地で慈善事業に取り組む

外部評価

SBTi

シュローダーの科学的根拠に基づく目標がScience Based Targets initiative(SBTi)により正式に認定

CDP Aレーティング

CDPリーダーシップレベル評価でA。CDPが採点した約15,000社のうち、この最高ランクを獲得したのはわずか2%。

MSCI ESGレーティング AAA

5年以上一貫したスコアで、業界の上位13%に入る

7. サステナブル投資チームおよび運用チーム主導によるもの、テーマ別キャンペーン、協働エンゲージメント、大規模なエンゲージメント等の合計。

8. シュローダー・キャピタルを含む

9. 2022年6月末時点



サステナビリティの 実践

私たちの目的は、アクティブ運用と責任あるスチュワードシップを通じて、お客様に優れた投資パフォーマンスを提供することです。投資家として、私たちが資本をどのように配分するかは、お客様に提供できる財務的なリターンだけでなく、私たちが世界に与える影響も形作ります。

私たちの投資方法は、企業に対する見方や評価の根本的な変化により、変化しています。かつてはリスクとリターンだけを考えていたのが、今では第3の次元であるインパクトを評価するようになっています。この3つの柱を一緒に考えることで、資産の本当の価値を評価し、お客様のためにより良い投資判断をすることができると考えています。そのため、私たちは20年以上前から環境、社会、ガバナンス（ESG）の要素を考慮し、2020年以降、運用資産全体にESGを完全に組み入れています¹⁰。

私たちは、50名以上のサステナビリティの専門家と、27名のサステナビリティ&インパクト(S&I)の専門家からなるチームを編成し、プライベート・アセット・ビジネスであるシュロージャー・キャピタルにS&Iを浸透させるべく活動しています。私たちにとって、サステナビリティは全社的な戦略の中核をなすものです。私たちは、Net Zero Asset Managers Initiativeの創設メンバーであり、2022年に科学的根拠に基づく目標がScience Based Targets initiative(SBTi)により正式に認定された最初の金融機関のひとつでもあります。

このセクションでは、当社のビジネスのさまざまな部分でESG要素がどのように考慮されているかを示すケーススタディが紹介されています。

10. 直近買収した特定の事業については、ESG要素を投資判断に組み込んでいません。また、ESGインテグレーションが現実的でない、または不可能な戦略も少数ながらあり、特定の合併事業は除外しています。

ネットゼロへの取り組み



アンドリュー・ハワード
サステナブル投資
グローバルヘッド

私たちの究極の目的は、お客様に優れたリターンを提供することです。私たちは、気候変動は投資リスクであると考え、お客様の資産価値を守り、高めるために、気候変動を緩和する義務があると考えます。これが、私たちの気候変動に関するコミットメントの基礎となっています。





マデリン・コブ
コーポレート・サステナビリティ
グローバルヘッド

シュローダーは、Net Zero Asset Managers Initiativeの創設メンバーであり、2050年またはそれ以前にすべての運用資産をネット・ゼロに移行することを約束しました。

また、運用資産も2040年までに1.5°C目標に一致させることを目指す、科学的根拠に基づく目標を設定しました。この目標はScience Based Targetsイニシアチブによって正式に認定されています。

私たちの投資全体で、
3つの重要なアクションをとっています

インサイト	影響	革新
 エクスポージャーの測定とポートフォリオの管理 独自のツールを用いて気候変動リスクの把握と整合度合の測定 投資において実用的なインサイトを発掘するテーマ別リサーチをリード	 追跡と企業に説明責任を果たさせる 企業に影響を与え、その進捗を追跡するための気候変動エンゲージメントとエスカレーションフレームワーク	 ネットゼロに向けたソリューションアプローチを行う 気候変動に配慮したソリューションを提供するイノベーション

私たちのコミットメントと目標

2021年、当社は、運用資産を1.5°C目標に一致させることで想定される気温上昇を下げることにコミットしました。具体的には、以下のような目標を掲げています。

- ① 2030年までにポートフォリオの温度上昇を2019年の2.9°Cから2.2°Cに削減すること
- ② 2040年までに、スコープ1、2、3排出量に対するポートフォリオの温度上昇を2019年の3.2°Cから1.5°Cに削減すること

2022年時点では、これらの数字にはSBTiが要求するすべての必須資産クラスが含まれており、当社の上場株式(普通株式および優先株)、社債、REIT、ETFのエクスポージャーから構成されています。これは、当社の運用資産残高の60%以上に相当します。

私たちは、このコミットメントを、私たちの運用資産全体に拡大することを計画しています。2023年には、次の資産クラスに関する当社の手法をSBTiに提出し、当社のグループ目標に組み入れることを目標としています。

- プライベート・エクイティ
- プライベート・デットとクレジット・オルタナティブ
- インフラストラクチャー
- 不動産
- 第三者ファンド(上場株式・社債)

また、ソブリン債をこのターゲットに含めることも目指しており、この資産クラスにおける温室効果ガス(GHG)排出量の計算方法に関する金融向け炭素会計パートナーシップ(PCAF)の協議とSBTiの結論を待っています。

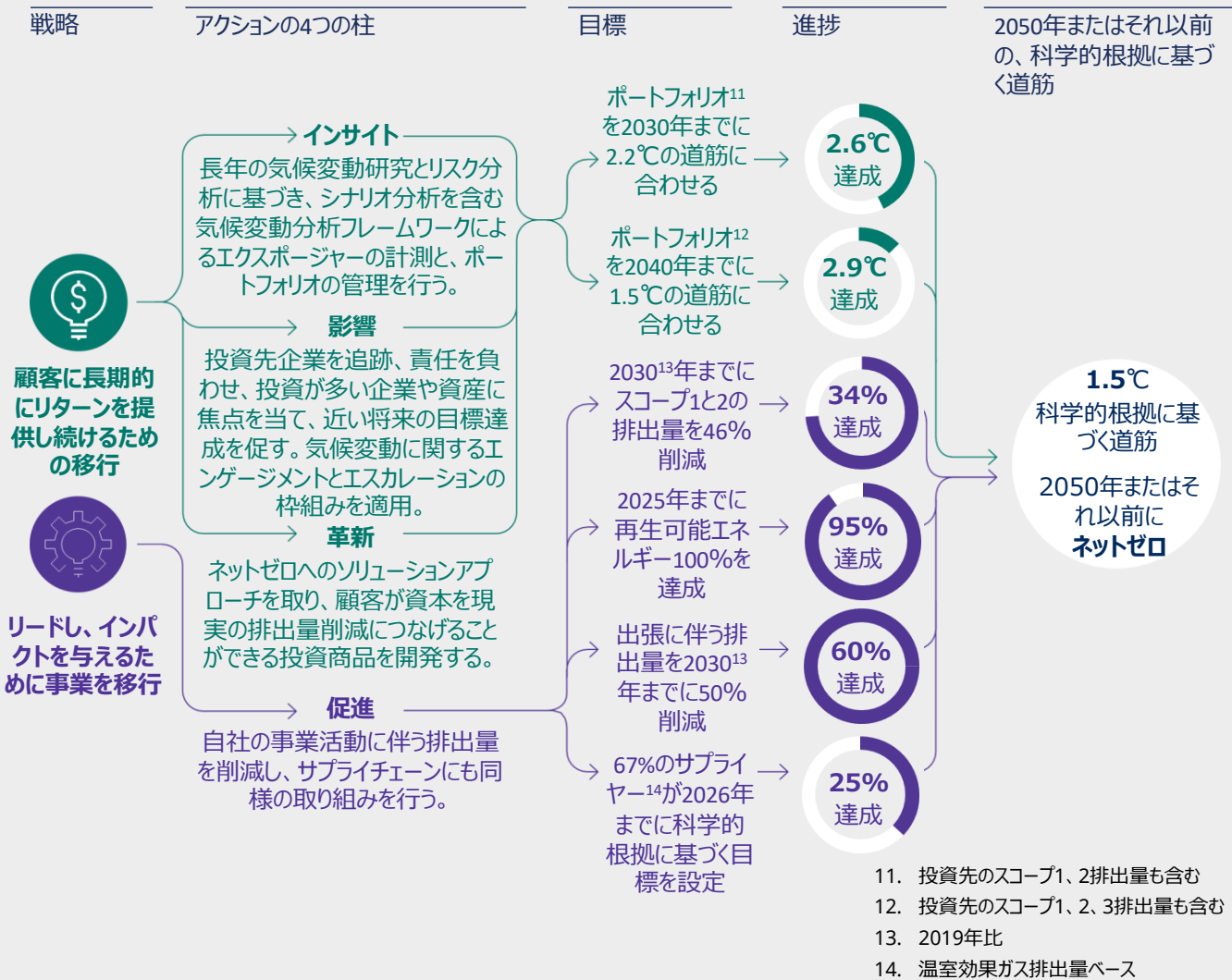
投資先企業の持続可能性と排出量目標に関与するのと同様に、私たちも科学的根拠に基づく意欲的な目標と行動を実現し、模範となることを目指します。当社の事業目標は以下の通りです。

- 2030年までに、スコープ1と2(場所ベース)のGHG排出量を2019年から46%削減する
- 2025年までに、再生可能エネルギーの年間調達量を100%にする
- 2030年までに、スコープ3の出張に伴う排出量の絶対量を2019年から50%削減
- 2026年までに、67%のサプライヤー(GHG排出量ベース)が科学的根拠に基づく目標を持つよう、サプライヤーと協力

アクションプラン

目標は、行動なくして達成できません。2021年、これらの目標を達成するための方法を定めた「気候移行アクションプラン」を発表しました。この計画と私たちの進捗は、その後の2021年と2022年の気候報告書で更新されています。

当社の気候変動戦略と2022年の進捗状況



進捗

2021年末の時点で、当社資産の予想気温上昇は2.8℃でした。その後同じポートフォリオ群の気温上昇は低下し、2022年末時点では2.6℃となりました。

気温上昇の低下の約85%は企業が設定する目標の変化に起因しており、10%はより排出量の多い企業への投資が減少したことに起因するものです。

進捗の大半は、企業が目標を設定することによってもたらされました。このことは、私たちがエンゲージメントを変化のための重要な要素として重視していることと一致しています。2021年以降に気候変動についてエンゲージメントを実施した企業は、実施していない企業に比べ、2℃以下の目標を設定する可能性が約2倍であることがわかりました。

今後の展望

2023年に向けて、私たちの投資における優先事項は以下の通りです。

インサイト：気候変動モデルやリサーチ強化の継続

影響：気候変動への取り組みとエスカレーションの枠組みを次のステップに進め、セクターごとの成果に焦点を当て、進捗を測定

革新：気候変動に対するソリューションを進化させ、特に自然由来のソリューションに注力

11. 投資先のスコープ1、2排出量も含む
12. 投資先のスコープ1、2、3排出量も含む
13. 2019年比
14. 温室効果ガス排出量ベース

出所：Schroders, 2022 Climate Report

シュローダーの自然のための行動計画



アンドリュー・ハワード
サステナブル投資
グローバルヘッド



マデリン・ゴブ
コーポレート・サステナビリティ
グローバルヘッド

アクティブ運用の資産運用会社として、私たちは世界中の預金者や投資家に代わり、日々投資判断を下しています。それは、その判断がお客様の財務的な未来、そしてより幅広い世界にインパクトを及ぼす可能性があるからです。

人が作り出した圧力は、陸上や水中の生命を支える生物多様性を損なわせています。水質浄化、農作物の受粉、洪水防止、炭素隔離など、自然が提供する生態系サービスは、人類の健康と効果的かつ機能的な社会にとって不可欠です。陸上および海洋の生態系を保護することは、気候変動の緩和と適応に向けた取り組みにおいて重要であり、食料安全保障、貧困削減、より包括的で公平な開発を達成するための基礎となります。

世界的に、生態系サービスの価値は年間125-140兆米ドルと推定されており、これは世界のGDPの1.5倍以上です¹⁵。自然リスクは、急速に投資リスクの不可欠な要素になりつつあります。そのため、自然や生物多様性への取り組みは、お客様に対する受託者責任の中核をなすものです。

15. OECD - <https://www.oecd-ilibrary.org/sites/a3147942-en/index.html?itemId=/content/publication/a3147942-en#:~:text=Ecosystem%20services%20delivered%20by%20biodiversity,the%20size%20of%20global%20GDP.>



ピーター・ハリソン
グループCEO

"現実として、自然リスクは投資のリスクとリターンに不可欠な要素に急速になりつつあります。アクティブ運用のリーディングカンパニーとして、シュローダーは重要な役割を担っています。ネイチャーポジティブな未来を加速させることは、お客様に対する受託者責任の一部です。

強固で長期的なリターンを提供し続けるためには、ポートフォリオに組み込まれた自然リスクを軽減することが重要です。そのため、私たちは自然に関する目標を掲げています。投資の力を利用してネイチャーポジティブな未来を加速させ、お客様のために真の投資の可能性を生み出したいと考えています。"

ビジネス全体でのアプローチ

当社の自然のための行動計画は、ネイチャーポジティブな未来を加速させるための私たちの意思表示です。調査・分析、企業とのエンゲージメント、自然ベースの投資ソリューションの開発など、自然に関連する影響やエクスポージャーの管理に対する当社の事業全体のアプローチについて概説しています。また、目標を達成するために、私たち自身の事業や他者との提携についても説明しています。2022年には、私たちのコミットメントをより詳細に示す自然および生物多様性に関するポジションステートメントも発表しています。

また、私たちは生物多様性のためのファイナンス協定 (Finance for Biodiversity Pledge) に署名しています。この協定に署名することは、この重要な問題に対する私たちの継続的な関心を示す対外的なコミットメントです。これは、気候変動と森林破壊に関する当社の既存のコミットメントを補完するものです。

当社のコミットメント

私たちは、生物多様性損失のペースを制限するために影響力を行使します。また、お客様のリスク調整後リターンを最大化するために、自然の回復と保護に直接投資するような資本配分を加速させる革新的な方法を模索するつもりです。



私たちは、次のことを約束しました：

2025年までに投資先企業において穀物生産による森林破壊をなくすこと。
これは、COP26期間中に発表され、9兆ドル近い資産を持つ30以上の機関が穀物生産による森林破壊を排除することを約束した「穀物生産による森林破壊を防止する金融機関のコミットメント・レター」に明記されています。

2050年またはそれ以前にすべての運用資産をネット・ゼロに移行させること。
気候変動は、生物多様性損失の主な要因の一つです。

自然資本の保護と再生への投資拡大を支援するための投資戦略を策定すること。
これは、当社が自然資本インベストメント・アライアンスのメンバーであることからわかります。

自らの事業活動を通じて、生物多様性への影響を管理し、低減すること。
直接的な影響は、資源消費と廃棄物管理を通じてもたらされます。私たちは、体系的な生物多様性への負荷低減に従って環境負荷を削減し、可能であれば、私たちが事業を行っている環境を向上させます。



どのように実現していくのか

インサイト

生物多様性と自然資本は、私たちのリサーチの中心的テーマの一つであり、私たちはこのテーマについて多くのレポートを発表しています。

企業や国が社会に対して創出しうるプラスとマイナスの外部性を推計する独自ツールであるSustainExを用いて、生物多様性損失の要因の多くを分析しています。

私たちは、コモディティのエクスポージャー、地理的エクスポージャー、人権リスク、およびこれらのリスクに対する企業の管理を評価する独自の森林破壊スコアカードを使用して、ポートフォリオ全体の森林破壊リスクへのエクスポージャーを評価します。

また、企業や金融機関に対しポートフォリオやサプライチェーンにおける自然関連のインパクトや依存関係、リスクと機会に関するインサイトや情報を提供しているNatcap Researchとも提携しています。

影響

2022年初めに私たちは「エンゲージメント・ブループリント」を発表し、アクティブオーナーシップの目標と6つの優先テーマを定めました。生物多様性と自然資本はこのテーマの1つであり、投資先企業における問題の重要性を踏まえ、重点的に取り組む4つのエリアを設定しています。

- ① 自然関連リスクおよび管理
- ② 循環型経済、汚染および廃棄物
- ③ サステナブルな食料および水
- ④ 森林破壊

森林破壊は、ここ数年、私たちにとって重要な分野となっています。私たちは、森林破壊リスクが最も高いのはどこかを特定するため、2022年に保有するすべての銘柄について分析を行いました。この分析は、森林破壊スコアカードと組み合わせることで、リスク管理と並行してリスクエクスポージャーを理解することができます。

私たちはこのリスクに対処するために、グループ全体のエンゲージメント計画を策定し、最も優先度の高い企業に対し当社の期待を伝えました。今後、進捗状況を報告する予定です。

革新

私たちは、自然資本への投資を希望するお客様に革新的なソリューションを提供することを約束し、これは私たちの今後の注力分野でもあります。これは、2022年の自然資本インベストメント・アライアンスへの参加にも表れています。2022年、シュローダーとコンサベーション・インターナショナルは、シンガポール初の自然資本インパクト投資専門の運用会社であるアカリア・ナチュラル・キャピタルとの画期的なパートナーシップを発表しました。

私たちは、自然ベースのソリューションに投資する際には、厳格なデューデリジェンスが極めて重要であることを認識しています。自然ベースのソリューションは、気候、自然、地域社会にとって大きな力となる可能性を秘めている一方で、厳格な基準を設けなければ、人や地球にダメージを与える可能性もあります。質が高く、気候変動に対する具体的な恩恵と、地域の環境やコミュニティに有意義な変化をもたらすプロジェクトに投資をするために、私たちは優れた環境・社会基準が守られていることを確認するための評価フレームワークを開発しました。

インパクト投資への取り組み

インパクト投資とは、測定可能で定量化可能な社会的・環境的インパクトとともに、それを通じて財務的リターンを得ることができるような投資プロセスを構築することです。

インパクト投資とは、社会や環境に対して測定可能なプラスの影響を及ぼし、投資家にプラスの財務的リターンをもたらすことが期待される投資を指します。インパクト投資は慈善事業ではありませんし、単に持続可能な開発目標(SDGs)を加味した投資でもありません。これは、財務的リターンを諦めるということではなく、意図的に測定可能かつ定量化可能な社会的・環境的インパクトと並行して、財務的リターンを達成できるような投資プロセスを構築することを意味します。

2022年、シュローダーは「インパクト投資の運用原則」に署名し、インパクト主導の戦略全体において、インパクトについて強固な測定と報告を行うことを約束しました。

インパクト投資とは

シュローダーが考えるインパクト投資とは、国際金融公社(IFC)およびGlobal Impact Investing Network(GIIN)の定義に沿ったもので、「財務的リターンと同時に、測定可能な社会または環境へのプラスの影響に貢献することを意図した企業や資産への投資」です。

アンドリュー・ハワード
サステナブル投資 グローバルヘッド

マリア・テレサ・ザッピア
インパクト グローバルヘッド

インパクト投資には、広範なサステナブル投資戦略やテーマ型投資とは異なる、3つのコアとなる要素があります。

1. 意図

戦略の社会的および/または環境的な目標を定義する。

2. 貢献

投資先企業を変化させること：財務的貢献、アクティブエンゲージメント。

3. 測定

投資先のアウトプットまたはプロセスの改善を測定し、その結果、環境および社会的な成果またはインパクトが改善される。

出所: Schroders, 2022年10月, IFC.

インパクト投資は、意図、貢献、測定の実証に加え、サステナビリティに関する高い水準を満たす必要があると考えています。私たちは、すべてのステークホルダーの利益のため、かつ長期的に運営される企業や資産を選好しています。また、投資の観点からも魅力的な企業や資産を探しており、利益と目的が合致したところに最高のアイデアが見つかると考えています。

目標：誠実にインパクトを拡大する

インパクト投資業界は、歴史的にプライベート市場の投資家によって支配されてきました。公開市場では主に流通市場で取引が行われるため、状況はそれほど明確ではありません。

企業が成熟するにつれ、公開市場への移行と公開企業としての規模は、企業のライフサイクルの重要な部分となります。上場市場で環境・社会ソリューションを提供する企業は、一般的に非公開市場で活動する企業よりも規模が大きく、それに応じてより大きなインパクトを生み出す余地があります。インパクト投資の拡大は、インパクト投資を民主化し、新しいタイプの投資家が利用できるようにする上でも重要な役割を担っています。

しかし、インパクト原則のベストプラクティスに沿ってインパクトを拡大することは困難です。私たちの新しいインパクトフレームワークは、この課題を解決することを目的としています。

シュローダーのインパクト投資フレームワーク

私たちは、プライベートおよび上場資産において20年以上にわたってインパクト投資に取り組んできたBlueOrchard¹⁶の経験と専門知識を基に、インパクト投資のファンドマネジャーの厳密さと堅牢さを、私たちのグループ全体のインパクトフレームワークに導入する枠組みを開発しました。インパクト投資の運用原則は当社におけるインパクト投資の枠組みを支えるものですが、私たちがこの枠組みを実施するにあたっては、原則に規定されている以上のことを行っています。

このフレームワークは、公開・プライベート市場の資産クラスを問わず一貫しており、お客様にスケーラブルなインパクト・ソリューションを提供することが可能です。

16. Schroders plcはBlueOrchardの株式の過半数を保有しています。

当社のフレームワークは、シュロダーのインパクト戦略が取り組むべき5つの主要な特性を概説しています。

- ① 意図性 - 戦略には明確なインパクトの主要業績評価指標(KPI)が必要。これらは、現実の問題を特定し、戦略がこれらの課題にどのように取り組むかというセオリー・オブ・チェンジの下設定される。
- ② 貢献 - 戦略は、投資先の貢献(投資先企業が明確な意思を示し、インパクト目標に直接貢献すること)と、投資家の貢献(ファンドマネジャーは、新しい資本の提供、アクティブオーナーシップ、株価支援などを通し、投資先が持つインパクトを支援し加速させることを目標としなければならない)の2つのレベルで貢献を示す必要がある。
- ③ 測定 - 戦略は、インパクトのパフォーマンス指標を長期的に測定・監視できる必要がある。BlueOrchardとの密な連携により開発された当社独自のインパクト・スコアカードにより、すべての保有銘柄(資産クラスを問わず)が評価される(右図ご参照)。
- ④ サステナビリティ - 顧客、従業員、サプライヤー、投資家、地域社会、規制当局、環境など、すべてのステークホルダーに対して公正な取り扱いを行い、投資先企業が適切に管理されていることを確認するための追加分析。
- ⑤ 財務的リターン - 最も強力なインパクトストーリーは、インパクトが企業の成長戦略や財務実績と整合している企業から生まれる。私たちは、利益と目的が整合する企業を選好する。

インパクト戦略は、財務的なリターンに加えて、現実の世界でポジティブな変化を生み出すことに重点を置いています。そのためには、インパクトのパフォーマンス指標を長期的に測定・監視することが必要です。私たちは、独自のスコアカードを用いて、5つの主要な次元でインパクトを評価します。このスコアカードは、ある企業が現在持っているインパクトと、進捗をモニターするため将来の目標を定量化することを目的としています。また、投資先企業や資産のアクティブオーナーとしての影響力も評価しています。

シュロダーのインパクト・スコアカードにおけるインパクト評価の次元



インパクト・ガバナンス

一貫したインパクトを提供するため、当社は3つの組織からなる全アセットクラスを対象とした全社的なガバナンスの枠組みを構築しています。当社のガバナンス構造の主な強みは、投資開始時、売買、ポートフォリオの各レベルで、インパクトとサステナビリティの専門家が独立した監督を行うことです。これにより、戦略や資産クラスを問わず、厳格かつ一貫したインパクトを提供することができます。以下、3つの組織の概要です。

インパクト・インキュベーターは、インパクト主導の可能性のある戦略に焦点を当て、ポートフォリオ戦略、セオリーオブチェンジ、インパクトKPIに関するガイダンスを提供します。

インパクト評価グループは、3つの重要な責任を担っています。

1. ボトムアップ評価 - 継続的に、全戦略の全保有銘柄のインパクト・スコアカードをレビューし、承認/異議を申し立てます。
2. トップダウン評価 - ポートフォリオレベルでのインパクトを、インパクトの目的やセオリーオブチェンジに沿って定期的にレビューし、論争やエンゲージメントをモニタリングします。
3. インパクトの報告に関するサポートを行います。

インパクト執行委員会は、インパクト戦略のためのインパクト評価の原則、プロセス、ツールの一貫性を確保します。

インパクト投資の運用原則への整合の一環として、私たちは署名後1年以内に私たちのインパクトに関する独立した検証を行うことを約束し、私たちのインパクト活動に関する開示資料を毎年公開することにしました。私たちは、インパクト投資市場に必要な規律、明確性、説明責任をもたらすこの独立した検証を歓迎します。

これからの道のり

インパクト投資市場が資産クラス全体で拡大し始める中、大規模な投資家は、その拡大を誠実なものとする責任があります。私たちは、BlueOrchardのインパクトに関する専門知識と私たちが有するサステナビリティに関するケイパビリティを活用し、上場およびプライベート市場において一貫して適用できる、業界のベストプラクティスに沿った強固なインパクトフレームワークを構築しました。

"インパクト投資市場が資産クラス全体で拡大し始める中、大規模な投資家は、その拡大を誠実なものとする責任があります。"

外部の第三者による検証

市場における独立検証機関には、Bluemark、Luminus、Steward RedQueen、BetterWay、4大監査法人があります。内部監査部門やリスク委員会を通じて検証を進めてきた署名機関もありますが、外部の独立した検証は、署名機関とその投資家、規制当局、株主、投資先にとって大きな付加価値をもたらすというのが私たちの見解です。

BlueOrchardは、2019年にインパクト投資の運用原則の署名機関となりました。それ以来、そのインパクトフレームワークは、すでにBlueMarkによる2回の独立した検証を受けています。2回の検証は、BlueOrchardのプライベートおよび上場資産の両方の戦略を対象としています。





サステナビリティ インサイト

より良い投資のインサイトは、創造的で革新的なリサーチによってもたらされます。シュローダーは、既存および新規のサステナビリティに関するトピックの最前線に立つことを意識しています。当社のテーマ別リサーチは、企業の評価やリスクプロファイルに影響を与える可能性のある重要なESGRiskと機会についての理解を深めることを目的としています。

企業の可能性を十分に理解するためには、年次報告書の枠を超える視点が必要です。企業が顧客、取引先、従業員などすべてのステークホルダーとどのように向き合っているかを分析することは、企業が長期的に成長し、安定したリターンを提供するための重要な手がかりとなります。

シュローダーのサステナブル投資チームは、様々なESG課題に関するインサイトに満ちたテーマ別リサーチを実施しています。2022年には、以下のようなトピックを調査しました。

- サイバーセキュリティ
- 人的資本管理
- 気候変動

また、レポートやポッドキャストを発行し、お客様や広く一般への啓蒙に努めています。

このセクションでは、サイバーセキュリティリスクの評価方法についてと、新しい独自モデルであるThemExが紹介されています。

サイバーセキュリティ：最もリスクの高い分野と地域



サム・トーマス
サステナブル投資アナリスト

サイバーリスクは、今日、組織が直面する最も直接的で財務的に重大なリスクの一つです。サイバーセキュリティに関する強固な管理を実施できない組織は、長期的に回復力が低下する可能性があります。

企業に対するサイバー攻撃の脅威が高まっていることは、投資コミュニティやビジネスリーダーの間でよく理解されています。大手サイバーセキュリティベンダーCheckPointのデータによると、2021年、企業が1週間あたりに受けたサイバー攻撃は2020年と比べ50%増加しました。その結果、サイバーリスクは世界の企業にとって最大の懸念事項となっています。実際、2022年には、Allianz Risk Barometer Surveyの回答企業の44%が、下図に示すように、サイバーインシデントを最大の懸念事項として取り上げています。

サイバー攻撃は、頻度が高くなるとともに、企業にとってより大きなコストとなっています。2022年、データ侵害の平均コストは前年比3%増の435万ドルと過去最高を記録し、2020年から13%増となりました。右図が示すように、データ侵害の平均コストの上昇は、通知、侵害後の対応、検出とエスカレーションのコストの増加によってもたらされました。

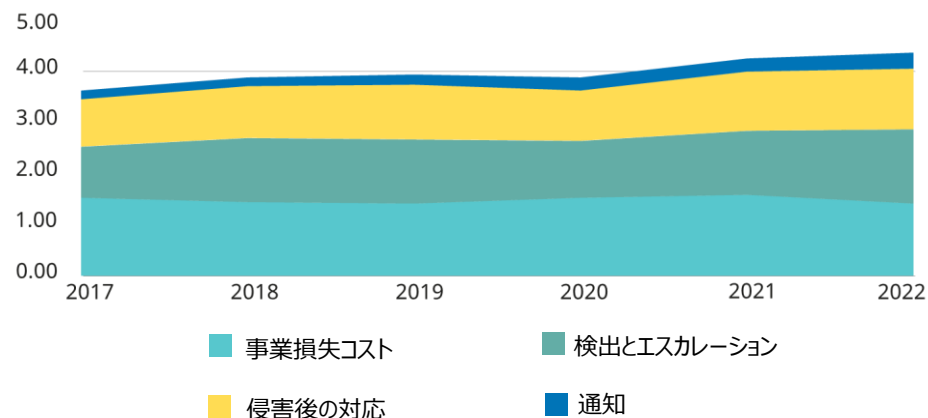
また、IBMのCost of a Data Breach Reportによると、データ侵害の平均コストが高い上位5つの国・地域は、米国(944万ドル)、中東(746万ドル)、カナダ(564万ドル)、英国(505万ドル)、ドイツ(485万ドル)で、いずれも2022年に前年比でコストが増加しています。同様に、調査対象となった業界の70%以上が、2022年にサイバー侵害のコストが前年比で増加したことが判明しました。

2021年には、製造業が23%の攻撃を受け、トップになりました。金融・保険業は、2021年には2番目に攻撃を受けましたが、過去4年間はいずれも1位でした。プロフェッショナル&ビジネスサービスは、2021年に最も攻撃されたセクターの第3位で、攻撃の13%を占めました。

このような背景から、私たちは、どの業界、地域、企業がサイバーセキュリティのリスクに最もさらされているかを理解することを目的として、サイバーセキュリティの世界を深く掘り下げることになりました。次ページ以降で、私たちのアプローチの概要をご紹介します。

データ侵害の平均コスト

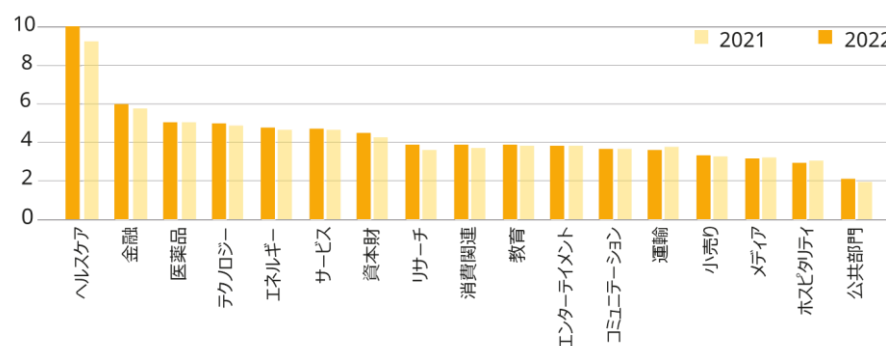
(百万ドル)



出所: IBM, Cost of A Data Breach Report 2022.

業種別データ侵害コスト

(百万ドル)



出所: IBM, Cost of A Data Breach Report 2022.

2022年、グローバルで企業が抱える懸念事項トップ3



出所: Allianz Risk Barometer.

サイバー・スコアカード：企業評価

スコアカードの概要

企業のサイバーセキュリティを評価することは、外部の立場から見ると非常に困難な作業です。どのような技術的保護が施されているのか、サイバー侵害に対処するためのプロセスや従業員の装備はどの程度整っているのか、発生時の対応策の全容等、サイバー慣行を本当に理解するには、エンゲージメントが最善の方法です。そこで、サイバーセキュリティ管理能力を強化するために企業が採用すべきと思われる、戦術的および戦略的な主要慣行をいくつか紹介します。

企業の最高経営責任者（CEO）や最高情報セキュリティ責任者（CISO）と深いエンゲージメントを行うことは、通常、企業のサイバー防御の内部を知る最良の方法ですが、これは時間がかかり、規模を拡大することが難しく、回答者の誠実さに依存する場合があります。

そこで私たちは、企業のサイバー対策状況を外部から測定する方法として、独自のサイバーセキュリティ・スコアカードを開発しました。このスコアカードは、世界6,300社のサイバーセキュリティ指標を用い、企業のサイバーセキュリティの強さを迅速かつ客観的に評価することができます。スコアカードを通じて、同業他社、同地域の他社、企業規模別の相対評価を行うことができます。

スコアカードは、企業がサイバーセキュリティの分野でどのようなパフォーマンスを発揮しているかを示す最初の指標として使用することが重要であり、その後、さらに的を絞った分析を行うことができます。スコアカードは19の指標で構成され、3つの側面から企業のサイバーセキュリティを評価しています。

- **サイバーセキュリティ・エクスポージャー** - インターネットの利用状況、事業活動の種類、事業展開する地域などに基づいて、企業がどの程度サイバー脅威にさらされる可能性があるかを測定。
- **サイバーセキュリティ管理** - 経営陣の監督、企業の方針、トレーニング、監査慣行を含む、企業のサイバーセキュリティ慣行の堅牢性を測定。
- **サイバーセキュリティ・モメンタム** - 特定のサイバーセキュリティ脆弱性指標の最近の動向を測定し、企業の脅威レベルが悪化しているか、改善しているか、安定しているかを判断。

サイバーセキュリティ・スコアカード



17. 当社のQEP（クオンツ株式会社運用）チームと共同開発し、BitSightのデータについて広範なデューデリジェンスを実施しました。無料トライアル契約の下、BitSightは2022年8月時点のデータを提供しました。

出所: Schroders.

下図の通り、サイバースコアの最大値は80で、極めて強力なサイバー管理手法を持ち、サイバー脆弱性指標に改善の勢いがある企業が該当します。一方、最小値は-35です。

スコアカードの構成

スコアカードは、企業データ、MSCIデータ、および専門的な第三者ベンダーであるBitSight & IHS のデータで構成されています。¹⁷

エクスポージャースコア - 企業のサイバーセキュリティ・エクスポージャー・スコアは、7つの指標の合計値です。スコアは-15から30までの範囲で、スコアが高いほどサイバーセキュリティのパフォーマンスが高いことを示します。

管理スコア - 管理指標は、企業がサイバー脅威にどれだけさらされているかを見るのではなく、そのような脅威に対処するためのプロセス、ポリシー、手順を評価することによって、企業の脅威を管理する能力を測定しようとするものです。企業の管理スコアは、測定基準の総和です。スコアは0から30まであり、スコアが高いほどサイバーセキュリティ管理が優れていることを示しています。

モメンタムスコア - モメンタムスコアは、企業のサイバー脅威へのエクスポージャーが前年に比べてどの程度改善または悪化したかを示しています。企業のモメンタムスコアは、Bitsightの格付け傾向を見ています。スコアは-20～20の範囲で、スコアが高いほどサイバーセキュリティのモメンタムが向上していることを示します。

スコアカードの結果

右表のとおり、最もスコアが高かったのは**先進国欧州**で、企業のサイバーセキュリティスコアは平均24.6でした。サイバーエクスポートの指標は最悪であったにもかかわらず、先進国欧州の企業は非常に強力なサイバー管理を実施しており、これと安定したモメンタムの指標が、地域全体の高いスコアを下支えしました。

最もスコアが低かったのが**先進国パシフィック**で、平均スコアが**22.4**でした。エクスポートと管理のスコアが低く、また、モメンタムスコアが最も低かったことが、トータルのスコア低下の要因となりました。

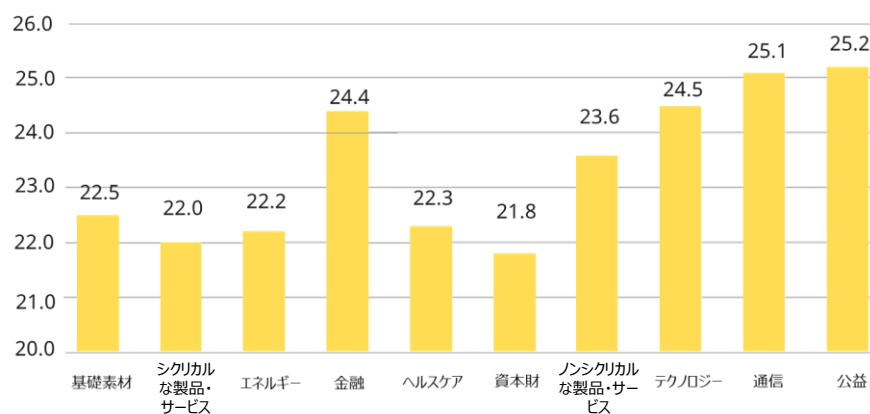
セクター別では、**資本財セクター**が**21.8**で最も低いスコアとなりました。資本財セクターは、米国を除くすべての地域でワースト1位または2位となりました。

公益と通信セクターはスコアが高く、それぞれ25.2、25.1でした。通信セクターは、新興国および先進国パシフィックにおいて1位となりました。公益セクターは、先進国欧州と米国で2番目に高いセクターとなり、新興国においては3番目となりました。

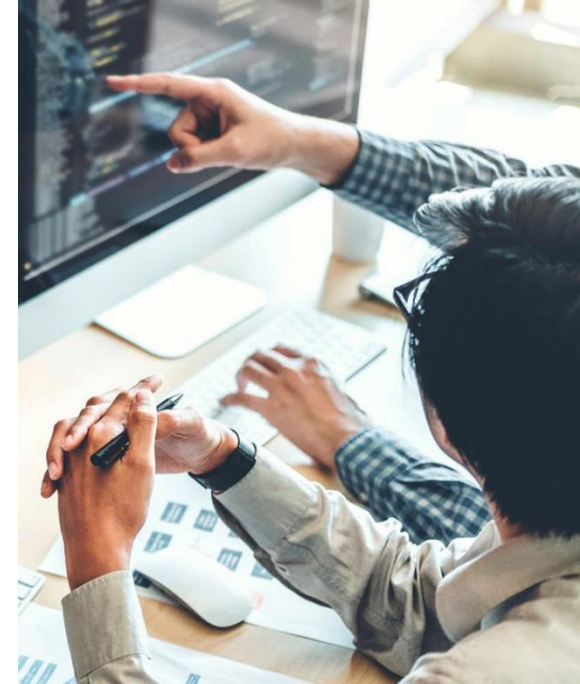
地域別サイバーセキュリティスコア

スコア	先進国欧州	米国	新興国	先進国パシフィック
モメンタムスコア	0.0	0.0	-0.2	-0.5
エクスポートスコア	13.7	15.0	17.1	14.3
管理スコア	10.9	8.0	6.8	8.6
トータル	24.6	23.0	23.6	22.4

グローバルのセクター別サイバーセキュリティスコア



出所: Company data, BitSight, MSCI.



サイバー侵害の平均コストとスコアカードの結果を比較すると、データ侵害のコストが高いにも関わらず、ヘルスケアセクターは最もスコアの低いセクターの一つとなりました。そのため、ヘルスケアセクターの企業に対するデューデリジェンスをより徹底する必要があると考えます。

製造業、資本財セクターについては、2021年に最も攻撃されたセクターとなり (IBM Threat Intelligenceより)、当社のサイバーセキュリティスコアにおいてもスコアが低いセクターであることから、これらのセクターの企業に対しても、追加のデューデリジェンスが必要であることが示唆されました。

スコアカードの実践 – 最近のサイバーセキュリティ侵害の分析

KonBriefing Researchが記録した世界のサイバー攻撃データを用いて、世界的上場企業で発生した最新のサイバーセキュリティ侵害事象の一部を分析しました。右図には、2022年9月～11月にサイバー攻撃を受けた企業の最新事例を紹介しています。




サイバーセキュリティ・スコアカードで各社がどのような結果を出したかを分析した結果、興味深い結果が3点上がりました。

1. すべての企業のサイバーセキュリティのスコアが各セクターの平均を下回っていた
2. 10社中9社のサイバーセキュリティのスコアが地域平均を下回っていた
3. 10社中8社のサイバーセキュリティのモメンタムスコアがマイナスだった

スコアカードがすべての企業のサイバー対策の弱点を発見するわけではないことは明らかであり、サイバーセキュリティのスコアカードで強さを示しているように見える企業であっても、侵害事件は依然として発生しています。

しかし、私たちは、企業のサイバーセキュリティスコアが、1. 同業他社と比べて著しく劣る、2. 同地域の企業と比べて劣る、3. モメンタムスコアが低下している場合に、サイバーセキュリティデューデリジェンスを実施することを提案します。

最近のサイバー侵害の事例

	サイバー侵害	サイバースコア (対セクター平均)	サイバースコア (対地域平均)	モメンタムスコア
 Uber Uber Technologies	2022年9月 機密性の高い顧客データの流出	-20% Uber= 20.9 米国テクノロジーセクターの平均= 26.2	-9% Uber= 20.9 米国の平均= 23.0	-7.7% ↓
 Starbucks	2022年9月 顧客データベースにオンラインから侵入された	-12% Starbucks= 19.3 消費循環セクターの平均= 22.0	-16% Starbucks= 19.3 米国の平均 = 23.0	-6.5% ↓
 Samsung Electronics	2022年9月 顧客データを盗むためシステムがハッキングされた	-29% Samsung Elec = 17.8 テクノロジーセクターの平均= 24.9	-21% Samsung Elec= 17.8 先進国パシフィックの平均= 22.4	-5.4% ↓

出所: Schroders, company data.

個別銘柄、業種等についての言及は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。

これは企業にとってどのような意味を持つのか

スコアカードは、企業のサイバーセキュリティに関するパフォーマンスを示す最初の指標として使用することができます。しかし、企業のパフォーマンスが低いことが判明した場合、その企業がサイバーセキュリティ慣行をどのように改善すればよいかを知ることは困難な場合があります。同様に、ある企業でサイバーセキュリティ侵害が報告された後、その企業が取ることを約束した是正措置が、将来的に侵害が繰り返される可能性を最小限に抑えるのに十分かどうかを判断するのは難しいことです。

そのため、英国のNational Cyber Security Centreおよびデジタル・文化・メディア・スポーツ省と共同で、企業のサイバーセキュリティのパフォーマンスをよりよく理解するための戦術的および戦略的提案を概説し、企業とエンゲージメントを行う際のベストプラクティスガイドを提供します。

サイバーセキュリティに関するエンゲージメントにおけるトップ5の注目分野

従業員教育・研修

テクノロジーは万能ではないことを忘れてはいけません。セキュリティ・テクノロジーの予算が潤沢だからといって、企業の安全性が完全に確保されるわけではありません。世界でも優れたシステムであっても、導入が不十分であれば台無しになる可能性があります。従業員は第一の防御線であり、最高情報セキュリティ責任者だけでなく、情報セキュリティに責任を持つべき存在です。したがって、従業員の教育と研修は、サイバーセキュリティの防御に不可欠な要素であり、すべての企業が頻繁に実施すべきことなのです。

受信/送信のトラフィックコントロールの確認と更新

企業は、ネットワークに入る情報と出る情報のトラフィックを継続的に監視する必要があります。同様に、企業は、受信と送信の制御が最新の状態に保たれていることを確認する必要があります(ファイアウォールの更新、アクセス制御リストの見直し等)。多くの場合、侵入の制限は強力ですが、送信の制限はかなり弱くなります。

最高情報セキュリティ責任者の報告体制

企業では、最高情報セキュリティ責任者(CISO)が最高情報責任者(CIO)の直属となるのが一般的です。しかし、私たちは、CISOがCEO(またはその他の経営幹部)に直接報告することがベストプラクティスであると考えています。これは、CIOが「収益を生む」ビジネスラインとサイバーリスクの責任の両方を管理している場合に特に重要です。CIOの報酬が財務的な成果や短期的な効率性向上に結びついている場合、セキュリティへの配慮が意思決定プロセスで後回しにされることがよくあります。

定期的な脆弱性スキャン

脆弱性スキャンは、様々な種類のスキャンソフトウェアによって実行される自動化されたプロセスです。企業は、弱点を確実に特定し、効率的に修正するために、定期的かつ構造化された脆弱性スキャンプロセスを実施する必要があります。脆弱性スキャンにはIoTスキャンやウェブアプリケーション、ネットワークスキャン等、様々な種類があります。毎月のスキャンは最低限必要であり、毎日のスキャンはベストインクスであると考えます。

インシデント対応計画の作成と更新

サイバーセキュリティの最も重要な原則が、サイバー侵害が起こるという前提であるとすれば、次のステップはインシデント対応計画を立てることです。すべての企業がインシデント対応計画を持つべきであり、この計画は、事業の複雑さや規模、新たなリスクに応じて、定期的に更新・拡張されるべきです。技術チームは、さまざまなサイバーインシデントに対処する方法を理解していなければなりません。同様に、経営陣は、いつ業務を停止するのか、どのようなくっかけで停止するのか、誰がこの決定の責任を負うのかを知っておく必要があります。サイバー防衛では、スピードが重要であり、よく理解し、よく練られたインシデント計画を持つことで、対応時間を劇的に向上させることができます。

テーマ別アライメントを理解する

人口動態、社会、テクノロジーの変化が消費パターンに影響を与え、地球の限界に挑戦し続ける中、企業は進化する消費者の行動や嗜好に適応しなければなりません。このような要求に応えることができる企業は、将来的に成功する可能性が高くなります。

ESG投資のルーツは、社会的にネガティブな影響を与える企業をスクリーニングしたいというニーズに遡ることができます。より現代的なESG分析では、企業の全体的な事業や製品・サービスの影響を評価するようになっています。しかし、グローバル市場の形成において、サステナビリティはますます重要性を増しており、サステナブルな製品やサービスを提供する企業にとって新たな機会が生まれています。その結果、投資家は、このような新たなサステナブル投資テーマを特定し、資本を配分することを求めています。

再生可能エネルギー、資源効率、持続可能な農業など、重要なサステナビリティテーマから恩恵を受け、それに貢献できる企業を効率的に特定することは、投資機会を提供することにつながります。環境・社会問題に取り組む企業に投資することで、その解決に積極的に貢献することができるのです。このアプローチは、サステナブル投資の進化を象徴するものであり、リスクの軽減からテーマ別の投資機会の特定へと焦点を拡大するものです。

ThemEx：サステナブル投資テーマへのエクスポージャーを理解するためのフレームワーク

私たちは、テーマ別整合性の理解は複雑であることを認識しています。個々の製品やサービスは、主要なサステナビリティテーマとポジティブまたはネガティブに整合している可能性があります。例えば、石炭採掘会社は脱炭素化にはマイナスである一方、風力発電機メーカーはプラスです。また、事業活動によっては、相殺されるエクスポージャーもあります。例えば、肥料は世界の飢餓を減らすという点でプラスに働きますが、その使用による生物多様性へのマイナス影響と相殺する必要があります。

私たちの新しいThemExフレームワーク

1. 事業活動とサステナビリティテーマとの間の複雑な関係を把握する必要性に基づいて設計。
2. 特定のサステナビリティテーマに対してポジティブまたはネガティブなエクスポージャーが高い企業を特定するために使用可。
3. 意図的か否かにかかわらず、個々のポートフォリオがサステナビリティテーマに対して持つ可能性のあるエクスポージャーを評価する方法を提供。

ThemExのインサイトは、サステナブル投資チームのリサーチ担当者や世界中の運用デスクの専門家の意見を取り入れながら、当社全体で広範かつ反復的に行われた協議によって導き出されたものです。トップダウンのサステナ

ベン・コリス
ESGモデル&データ ヘッド



ビリティに関する知見と、ボトムアップの銘柄選択による個別企業への深い理解の両方から導き出される私たちのフレームワークは、人間のインサイトによって動かされます。約6,000種類の製品およびサービスの分析によって、約16,000社のテーマ別エクスポージャーに関するインサイトが提供可能です。

サステナブル投資テーマに関する考え方の一つとして、業界では国連の持続可能な開発目標(SDGs)が支持されています。SDGsは、私たちが世界的に直面している大きな課題に取り組むために、各国に対して行動を促す緊急の呼びかけです。2015年に国連加盟国によって採択され、人々と地球の平和と繁栄のための共有されたブループリントとなることを意図しています¹⁸。

投資家にとっては、SDGsに影響を与え、また影響を受ける可能性がある方法が数多く存在します。私たちは、リサーチ、独自のモデル、アクティブ・オーナーシップを通じて、SDGsをテーマ別の重点分野に取り込んでいます。

ポートフォリオにとって財務的に重要なテーマを理解することに重点を置いており、グローバルな課題と機会を理解することがその鍵になります。また、このような方法で資本を配分することを希望するお客様のために、意図的で測定可能なインパクトをもたらすことを目的としたインパクト投資の戦略も数多く用意しています。

ThemExを利用することで、製品やサービスを通じてSDGsに直接合致している企業を特定することができます。



18. <https://sdgs.un.org/goals>

ThemExの企業の例

A社について、製品やサービスを事業活動ごとに分類します。例えば、バイオ医薬品という事業活動には、皮膚科、血液内科、眼科等、さまざまな商品・サービスが含まれます。それぞれの事業活動は、大きさと方向性の両方からSDGsにマッピングされます。

そして、そのアウトプットを集計します。この際二重計上を避けるために、個々の収益セグメントの貢献度に上限を設けています。アウトプットは、企業やポートフォリオの収益のうち、SDGsに沿った収益の割合として表されます。例えば、50%の整合性を持つ企業またはポートフォリオは、その企業またはポートフォリオ内の企業の収益の50%がSDGsに整合していることを示します。この整合性は、ポジティブまたはネガティブな影響を含む個々のSDGsに分解することができます。

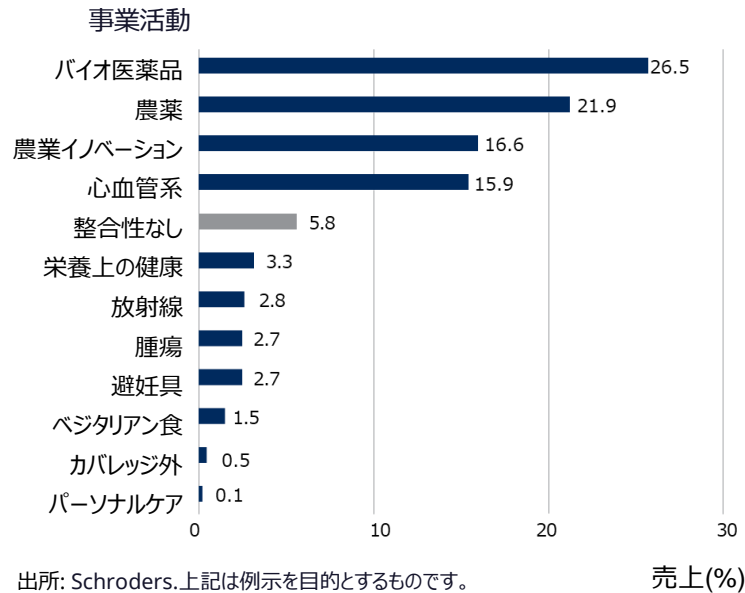
ThemEx：新しいサステナビリティの視点を提供

当社の新しいThemExモデルは、SDGsを含む様々な重要なサステナブル投資テーマに対する企業のエクスポージャーを分析するためのフレームワークを提供します。ThemExは、CONTEXTやSustainEx、気候変動モデルなどの既存のモデルを含む、当社独自のサステナビリティツールキットの一部です。SustainExは、企業や国が社会に対して創出する可能性のあるプラスとマイナスの外部性を推定するものです。これは、事業活動と製品・サービスの両方の外部性を把握することを目的としています。

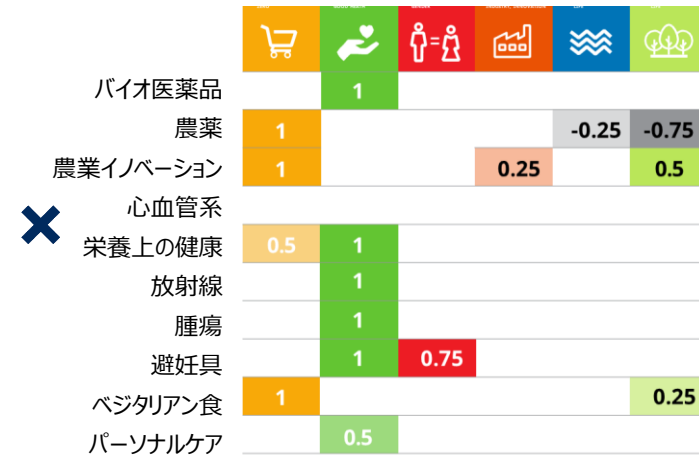
ThemExは、SustainExの分析を補完するもので、特に企業の製品およびサービスに焦点を当てています。6,000の製品・サービスにわたる16,000以上の企業について、これらの製品・サービスがSDGsをどの程度サポートしているかという見解を提供します。

ある企業を例にした分析結果例：

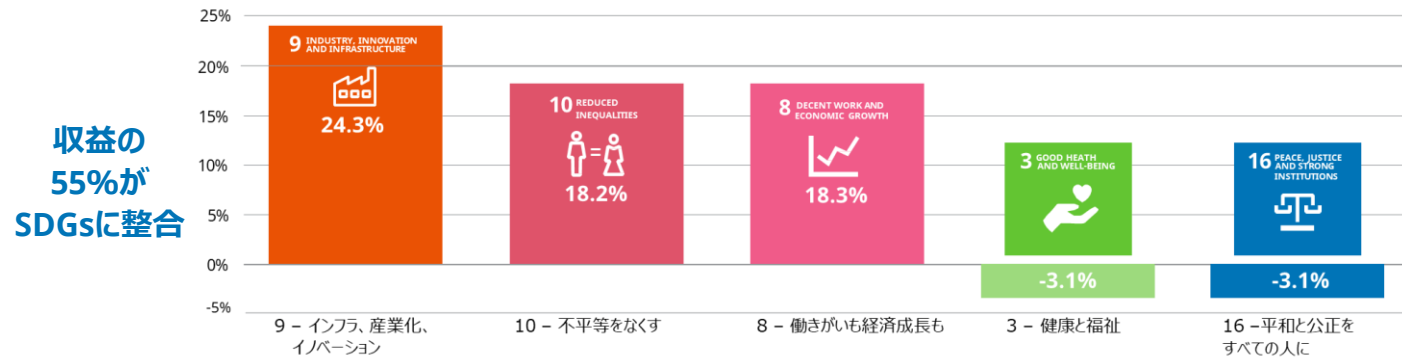
事業活動に伴うA社の収益エクスポージャー



SDGsへの事業活動マッピングと組み合わせる



収益のうちSDGsと整合的な割合



【本資料に関するご留意事項】

- 本資料は、情報提供を目的として、シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド（以下、「作成者」といいます。）が作成した資料を、シュローダー・インベストメント・マネージメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が和訳および編集したものであり、いかなる有価証券の売買の申し込み、その他勧誘を目的とするものではありません。英語原文と本資料の内容に相違がある場合には、原文が優先します。
- 本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。
- 本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものではありません。
- 本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。
- 本資料中に個別銘柄についての言及がある場合は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また当該銘柄の株価の上昇または下落等を示唆するものでもありません。
- 本資料に記載された予測値は、様々な仮定を元にした統計モデルにより導出された結果です。予測値は将来の経済や市場の要因に関する高い不確実性により変動し、将来の投資成果に影響を与える可能性があります。これらの予測値は、本資料使用時点における情報提供を目的とするものです。今後、経済や市場の状況が変化するに伴い、予測値の前提となっている仮定が変わり、その結果予測値が大きく変動する場合があります。シュローダーは予測値、前提となる仮定、経済および市場状況の変化、予測モデルその他に関する変更や更新について情報提供を行う義務を有しません。
- 本資料中に含まれる第三者機関提供のデータは、データ提供者の同意なく複製、抽出、あるいは使用することが禁じられている場合があります。第三者機関提供データはいかなる保証も提供いたしません。第三者提供データに関して、本資料の作成者あるいは提供者はいかなる責任を負うものではありません。
- シュローダー/Schroders とは、シュローダー plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。
- 本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。

シュローダー・インベストメント・マネージメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

JPN001571